

	<h1>みまもり隊通信</h1>	<p>2021.12</p> <p>第23号</p> <p>山陽小学校 学校支援ボランティア</p>
		
	<h2>できる人が できるときに 子どもたちを見守る</h2>	

## できる人が できるときに 子どもたちを見守る

クラス支援は10月からスタートしました。3年生の「安全マップ」、1年生の「秋みつけ」、4年生の「のこぎり釘打ち」、5年生の「砂川生き物調べ」などなど、多岐にわたった内容をボランティアの皆さんにご協力いただきました。ありがとうございました。

急な依頼にも素早く参加連絡をしてくださる方、「何年ぶりに参加でドキドキする」、「仕事がちょうど休みだったから参加します」、「人数が少ないみたいだから」という声もきかせてもらいました。子どもを思うボランティアの皆さんがいてくれて成り立つこの活動。感謝です。活動

に参加されなくても、またいつか参加したいな、と思ってくださる方がいることも心強く思います。いつでも歓迎です。大人が見守っている、そんな安心感の中で山陽小の子どもたちが過ごせるように、私も陰ながらお役に立てたらいいなと思います。

山陽小学校学校支援コーディネーター



～安全マップ～



～砂川生き物調べ～

## 図書ボランティアからの報告

いつも図書ボランティアにご協力いただきありがとうございます。2学期は図書室の壁面装飾、本の修理を中心に、毎年恒例の子ども達から募集した詩の選考を行いました。

9月は緊急事態宣言下でしたので活動を休止としましたが、10月は壁面を夏バージョンから秋バージョンへと、皆で飾り付けをしました。

山陽小学校の図書室は壁面だけではなく、天井からも季節のモビールを吊っていて、夏には虹色の折紙で折ったクラゲが風にゆらゆらと揺れたり、秋には新聞紙をびりびりと千切って作った愛嬌たっぷりのミノムシがぶら下がったりと、ユーモアさも少しずつプラスしています。

子どもたちが「あっ！」と気に留めてくれて喜んでくれる事が一番の楽しみです。

そして、今年は山陽小学校創立50周年を記念して詩の募集テーマを「山陽小学校の好きなところ」に決定し、子ども達から素敵な詩が42作品集まりました。一人一人思い描く山陽小学校はとても個性豊かで、その思いが詩に素直に反映され、皆で楽しく選考させていただきました。

図書ボラからは4つの賞を設け、図書委員さんにも選考してもらいました。今回は2階中央通路(50周年ストリート)へ展示し、より多くの方にご覧いただけたらと考えています。どうぞお楽しみに！

図書ボランティアコーディネーター



## 読み聞かせボランティアからの報告

いつも読み聞かせボランティアにご協力下さり、ありがとうございます。

今学期は2回、高学年・低学年・あおぞら学級への読み聞かせを行いました。

読み聞かせボランティアは朝の15分程度の活動で、他のボランティア活動と比べると関わる時間が短時間です。そんな中でも、子どもたちはしっかりと集中して絵本を聞いてくれています。その様子がとても嬉しく思いますし、参加して良かった、と思う瞬間でもあります。読み聞かせでの関わりを通して、子どもたちの学校生活が、少しでも良いものになると良いな、と願っています。

また、ボランティアに参加して下さった皆さんが、それぞれに子どもたちのことを思って選書してくださっていることにも、とても感謝しています。

今年度の読み聞かせは、あと2回を予定しています。これから益々寒くなりますが、体調管理に気を配り、予定通り子どもたちと絵本を楽しむ時間が持てるよう願っています。

読み聞かせボランティアコーディネーター



## 夏休み宿題お助け教室からの報告

夏休みの宿題お助け教室では、たくさんの小学生が参加し、夏休みの課題に取り組みました。また、中学生ボランティアさんも多数参加してくれて、小学生と中学生と一緒に机に向かい交流を深めるとも素敵な時間となりました。

「ここが分からないんだけど。」「これはね、こうやって解いたらいいよ。」小学生は持ってきた宿題を一生懸命に解き、分からないところを中学生が教えてくれる。時にはじっくりと分かるまで一緒に考えてくれたり…。最初はお互いに緊張したり声をかけにくかったりする様子もありましたが、しだいに慣れ空気も和み交流が深まっていったように思います。

・間違えてもやさしく教えてくれて、楽しく勉強できた。来年も参加したい。

・家でするよりも静かに集中してできた。この調子で残りも家で頑張りたい。

・中学生が分かりやすく説明してくれたから、ドリルがどんどん進んだ。

・中学生になったら、今度は自分がやさしく教えてあげたい。

などなど、参加した小学生のアンケートには、「お助け教室に来てよかった!」という声がたくさんありました。まだまだ課題もあると思いますが、これからも「お助け教室に来てよかった!」と一人でも多くの子どもたちに思ってもらえるように、お手伝いできたらなと思っています。

冬休みにも『宿題お助け教室』を開きます。冬休みもまたこの夏のように、参加した子どもたちが集中して宿題に取り組んだり、少しでも満足して帰宅できる、そんな時間になるといいなと思っています。

「一緒に勉強してみようかな」と思ったらぜひ参加してみてくださいね。お待ちしております。

夏・冬宿題お助け隊ボランティアコーディネーター

